

雲仙岳 おやまカード

UNZEN NATURE EXPERIENCE CARD

公益財団法人 雲仙岳災害記念財団

地域を学ぶ調査隊「火山ジュニアマイスター」
がみどころを紹介！



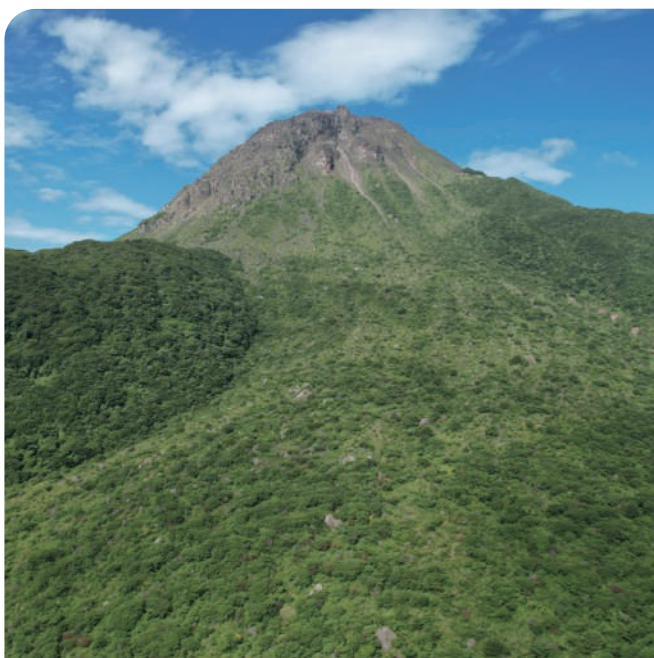
雲仙岳火山モンスター

平成新山と垂木台地



噴火直後の平成新山 #001

平成新山と垂木台地



垂木台地から見える平成新山 #002

平成新山と垂木台地



垂木台地をおそう火砕流 #003

写真: 宇井忠英氏提供

平成新山と垂木台地



被災直後の垂木台地 #004

【雲仙岳おやまカード】

これは地域を学ぶ火山ジュニアマイスターの子どもたちが雲仙岳噴火と災害を紹介するカードです。

【カードの作り方】

- ☆A 4 厚紙で両面印刷してください
- ☆点線を切ってカードにしてください
- ☆左上に丸穴をあけてください
- ☆カードをリングに通してお使いください



なかむら ひろこ
中村 浩子
雲仙岳火山ジュニアマイスター



#001

赤色部分が噴火でもり上がったところです。下には噴火前の山が隠れています。溶岩の厚さはあついで約250mに達しました。噴火で大地が劇的に変わったことが分かります。



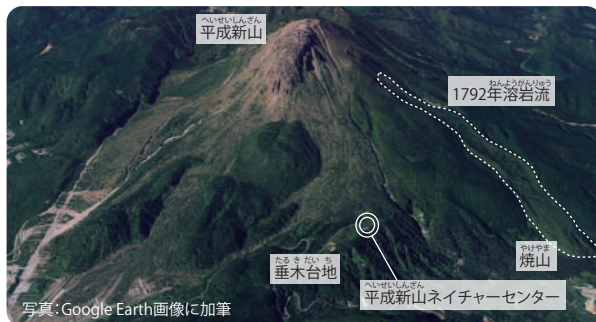
平成新山(へいせいしんざん)

長崎県島原半島の中央にそびえる県内で最高峰の標高1,483mの山です。平成の時代に新しくできた山であることから、平成新山と名付けられました。
[ムービー：一般社団法人アールイー 辻野貴士氏 作成・協力]

長崎県最高峰
平成新山

噴火災害を乗り越えた森：垂木台地

長崎県雲仙普賢岳の平成の噴火では溶岩や火山灰が火山ガスと一緒に猛スピードで山をかけおりる「火砕流」が起きました。森の木々は一瞬のうちになぎたおされ、焼き尽くされました。その後、人々がいろいろな工夫をしながら森をよみがえらせてきました。



写真：Google Earth画像に加筆

※表紙のキャラクターは災害モンスター研究所より提供いただきました



しま さほ
島田 紗帆
雲仙岳火山ジュニアマイスター



#003

地下からあがってきたマグマが地表でもりあがり溶岩ドームとなりました。さらにドームに割れ目ができてくずれ落ちてきました。その結果、溶岩や火山灰、火山ガスと一緒に時速100キロものスピードで山をかけおりる火砕流が起きました。



写真：大河重二氏提供



火砕流(かさいりゅう)

1991年6月3日の火砕流により、死者・行方不明者43人の被害が出ました。さらに1993年6月23日の火砕流でも1人が亡くなりました。

高速で山をかけおりる
火砕流

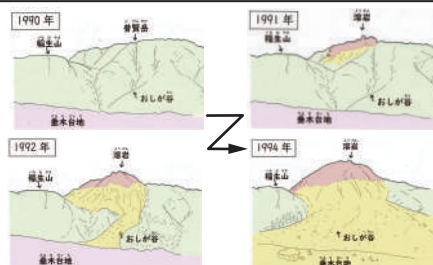


よし が そうしろう
吉賀 壮志朗
雲仙岳火山ジュニアマイスター



#002

噴火前から一年で溶岩が出始め、その翌年にはおしが谷が土砂でうまり始めました。その後、さらに溶岩がもり上がり、垂木台地まで土砂が埋まりました。谷は火砕流で埋まってしまいました。



おしが谷(おしがたに)

垂木台地と稲生山の間につくられた谷。火砕流が何度も谷をうめておよそ124mも土砂が積もり大地が大きく変わってしまいました。

垂木台地から見た
大地の変化



よし が いちか
吉賀 一花
雲仙岳火山ジュニアマイスター



#004

火砕流により木々が焼かれた垂木台地では、雨がふると山のくぼみに水がたまりました。そのわずかな水を使ってもとの地面の中に残っていた種がねぶきました。その後、自然の力だけではなく、地域の方々が木を植えて森が回復していきました。



垂木台地(たるきだいち)

人が入れない火山の近くでは、ヘリコプターによる種まきが行われました。赤松、ススキ、イタドリなどの植物が年々標高の高いところまで上ってきています。

[ムービー：一般社団法人アールイー 辻野貴士氏 作成・協力]

噴火災害を乗り越えた森
垂木台地